

報道関係各位

 一般社団法人日本能率協会
 産業振興センター

インダストリーフロンティア

～日本のものづくりと新産業の創出を支援する総合展～

INDUSTRY-FRONTIER 2019

“つながる工場”推進展 / 生産と工場の設備・機器展
 開発・設計・生産システム展 / AIとロボティクス産業展

2019年4月 幕張メッセで新規開催！ 出展募集を開始

電子・機械部品の専門技術展「TECHNO-FRONTIER 2019」との同時開催で、
 製品開発から生産・製造まで 一貫したものづくりを支援します！

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2019年4月17日（水）～19日（金）の3日間、幕張メッセ（千葉市美浜区）で、『INDUSTRY-FRONTIER 2019（インダストリー・フロンティア）』の総称のもと、生産技術、製造、およびそれらを支援する技術・システムにフォーカスした4つの展示会「“つながる工場”推進展」「生産と工場の設備・機器展」「開発・設計・生産システム展」「AIとロボティクス産業展」を初開催します。

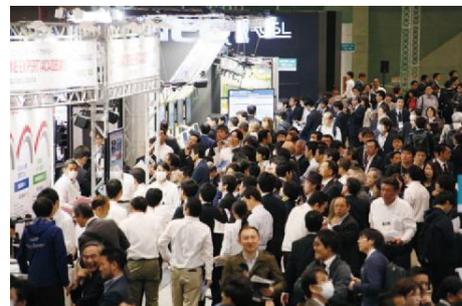
近年の日本の“ものづくり”を取り巻く環境は、市場ニーズの多様化・技術革新の速さ・製品ライフサイクルの短縮化・人口減少による海外市場への移行などめまぐるしく変化し、また製品の品質だけではなく、ソリューションやサービスまで含めたトータルな対応が求められています。

そこで、小会が長年開催する電子・機械部品の専門技術展「TECHNO-FRONTIER（テクノフロンティア）」と本展を同時開催することで、研究開発・設計分野に加え、生産技術・生産、さらに企画・マーケティングを含めた“一貫したものづくり”を支援する技術交流と商談の場を実現します。

「INDUSTRY-FRONTIER」および「TECHNO-FRONTIER」は、特定の業界や分野に特化した展示会ではなく、あらゆる製造業の関係者を対象とした展示会です。また、従来の技術部門だけでなく、ものづくり全般に関わるプロフェッショナルに向け、幅広く開催告知と来場動員を行います。

出展対象および来場対象が従来以上に拡大する本展は、各社のPRの場として、また直接顧客の声を聴く場としての効果的な催しとなります。

現在出展を募集しており、出展料金は1ブースあたり税込で、日本能率協会会員は442,800円、会員外は475,200円となります。2018年10月31日（水）までに申し込むと、早期申込特典として、1ブースあたり10,800円割引となります。出展募集の締切りは、2018年12月21日（金）。問い合わせは日本能率協会・産業振興センター INDUSTRY-FRONTIER 事務局（TEL 03-3434-0587）まで。



TECHNO-FRONTIER 2018（前回）の会場風景

【本件に関する問い合わせ先】 INDUSTRY-FRONTIER 事務局

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内（担当：飯田・国部・内田）

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL：03-3434-0587 E-mail：tf@jma.or.jp

※取材の問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤・川村）へお願いいたします。

開催概要

公式サイト⇒ <https://www.jma.or.jp/if/>

- 名称 : INDUSTRY-FRONTIER 2019 (インダストリーフロンティア、総称)
- 構成展示会 : 第1回 “つながる工場” 推進展
第1回 生産と工場の設備・機器展
第1回 開発・設計・生産システム展
第1回 AIとロボティクス産業展
- 会期 : 2019年4月17日(水)～19日(金)
- 会場 : 幕張メッセ
- 主催 : 一般社団法人日本能率協会
- 展示予定規模 : 500社/1,000ブース (※同時開催展示会含む)
- 来場予定者数 : 32,000名 (※同時開催展示会含む)

<同時開催展示会>

●TECHNO-FRONTIER 2019

モータ技術展/モーション・エンジニアリング展/メカトロニクス技術展
センシング技術展/部品設計・加工技術展
電源システム展/次世代給電技術展/バッテリー技術展
EMC・ノイズ対策技術展/熱設計・対策技術展

●国際ドローン展

●交通インフラ WEEK

駅と空港の設備機器展/バス・トラック運行システム展/駐輪・駐車場システム・設備展

出展募集について

【出展料金】※消費税込み

- 会員 : 442,800円/1ブース
- 会員外 : 475,200円/1ブース

- ・上記「会員」は、一般社団法人日本能率協会の会員をさします。
- ・1ブースの仕様は「間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m」となります。

【申込締切】

- 早期申込締切 : 2018年10月31日(水) ※通常申込より1ブースあたり10,800円割引
- 通常申込締切 : 2018年12月21日(金)

なお、本展会期中の入場登録料は、3,000円(税込)を予定しています。

※ただし招待状持参者、本展公式WEBからの事前登録者は無料となります。

※一度の入場登録で、本展を含めた同時開催の展示会すべてをご覧いただくことができます。

【同時開催】TECHNO-FRONTIER 2019 について

本展と同時開催される「TECHNO-FRONTIER (テクノフロンティア)」は、メカトロニクス・エレクトロニクスを中心とした、ものづくりエンジニアのための技術開発促進と市場創出を支援する専門技術展です。

1983年初開催の「小形モータ技術展」を原点にスタートし、以降、関連技術と対象領域を拡大し続けている40年近くの歴史と開催実績のある展示会です。モータ/電源/センサなどの要素技術から製品設計に関するソリューション技術まで、幅広い製品・技術の展示紹介と、最新の技術動向が学べる技術シンポジウムが同時開催されるイベントとして、研究開発や設計に関わるエンジニアから多大な支持と高い評価を得ています。前回(2018年4月)は、300以上の出展者と20,000名近くのプロフェッショナルが来場しました。

機器・装置からトータルソリューションまで ～ものづくりIoTのための総合展～ 第1回 “つながる工場”推進展

IoT (Internet of Things) への関心が高まる中、ものづくりの領域においてもIoTの導入・活用が現実のものとなってまいりました。

ものづくり現場でのIoT活用によるアウトプットとして、最適生産、予知保全、品質向上、省人化など、さまざまな効果が期待されていますが、情報の収集・分析・活用のためにはセンサをはじめとした機器・装置から、制御やネットワークまで多岐に渡る製品・技術が不可欠となります。また、ものづくりIoT導入を検討する企業に向けては、マネジメント/戦略レベルで推進するリーダーから現場の担当者まで、幅広い層に向けそれぞれの役割に応じたソリューションを提供することが必要となります。

本展では、多数来場するものづくり関係者に向け、ものづくりIoTのための“つながる工場”を実現する製品・技術を一堂に展示しPRします。

- 【出展対象】
- 情報を収集する技術（センシング）
 - 画像を活かす技術（マシンビジョン）
 - データを活かす技術
 - 機器を処理・制御する技術
 - 実行・活用する技術
 - つなげる技術（ネットワーク）
 - 守る技術（セキュリティ）
 - スマート工場を実現する技術

- 【来場対象】 あらゆるメーカーの
IoT推進担当者/生産技術エンジニア/生産管理/システム管理/品質管理・環境管理
購買・調達/経営企画 等の方々

企業競争力の根幹 ～生技と生産・製造の専門技術展～ 第1回 生産と工場の設備・機器展

加工・組立機、搬送機、検査器、制御器など製造業向け生産設備・工場備品・システムの専門技術展です。“これからの製造業や産業のあり方”として、ドイツではIndustrie4.0が、日本ではSociety5.0が提唱されていますが、その基盤となるのは、「同時開催のTECHNO-FRONTIERで扱われる要素技術」と「本展で扱われる設備・機器・システム」です。

製造業全体を俯瞰するために、開発・設計エンジニアから生産技術エンジニア、生産・製造の担当者が来場します。

- 【出展対象】
- 生産設備：加工組立・搬送・検査・計測
(加工組立器、搬送器、検査器・計測器 ほか)
 - システム
(生産管理、品質管理、環境管理、制御器 ほか)
 - サービス
(要員、保守管理、コンサル、OEM、資格 ほか)
 - 工場備品
(送風機、集塵機、回転灯、ロボット、保管資材、油水・薬剤処理装置、冷風機、ガス回収装置、表示灯、作業工具、テープ、浮上油回収装置、乾燥機、噴霧器、作業台、作業備品、洗浄機、清掃製品・資材、安全靴、ヘルメット、電子部品、センサ、アクチュエータ、プリント基盤 ほか)

- 【来場対象】 自動車/車載機器、FA/工作機械、家電・AV機器、ロボット、医療/福祉機器等のあらゆる産業製品に関わる、
生産技術エンジニア/生産/製造担当者/購買・調達担当者/経営者・管理者

～最適なPLMを実現する 最新の技術・ソリューションの総合展～ 第1回 開発・設計・生産システム展

製品の開発・設計から生産・製造まで、“ものづくり”に不可欠となっているシステム・ソフトウェアに焦点をあてた総合技術展です。

開発・設計・生産技術エンジニアを対象とした専門性の高いデジタルエンジニアリングツール、生産・製造プロセスを対象とした確実な QCD 管理を実行するための各種生産システム、また製品の企画～廃棄まで最適な PLM を一貫して支援する統合プラットフォームまで、各プロセスや課題に応じたソリューションをご提案・ご紹介いただく場として開催します。

※PLM(Product Lifecycle Management)

- 【出展対象】
- 開発・設計ソリューション
(CAD、CAE～各種解析/シミュレーション、レンダリング/モデリング、測定・分析・評価機器/システム、3D プリンタ/ラビッドプロトタイプング、開発・設計マネジメントツール、その他開発・設計支援ツール)
 - 生産・製造ソリューション
(CAM、産業用 VR、生産管理システム、工程管理システム、購買管理システム、原価管理システム、その他生産・製造支援ツール)
 - 統合・総合ソリューション
(PDM、PLM、ERP など)
 - その他
(設計・製造受託、測定/解析/評価受託、技術者派遣、コンサルティング/教育 など)

- 【来場対象】 あらゆるメーカーの
研究開発・設計エンジニア/生産技術エンジニア/システム推進担当者
生産管理/IoT 推進担当者/品質管理環境管理/購買・調達 経営企画 等の方々

“技術”と“活用目的”の出会いの場 ～AI 市場創出のための総合技術展～ 第1回 AI とロボティクス産業展

AI (Artificial Intelligence) は、省人・省力化、業務効率化、日常生活の利便性向上、新ビジネスの創出など、従来人間が行ってきた様々な活動やそれに伴うアウトプットを、高度なプログラミングや機械が代替する次世代の技術として、関心と期待がますます高まっています。

一方で、技術を利用するユーザは「AI って何?」「AI で何ができるの?」「どうなるの?」といった疑問が未だ多く、技術を提供する側も「自社の技術は何(市場・分野)に活用できるの?」「ニーズに応える技術レベルは?」といった課題を抱えており、具体的な実用展開はまだこれからといった状況にあります。

本展は、AI 活用のためのあらゆる技術を一堂に展示し、AI に関心のある・導入を検討している方々の課題やニーズを明確にし、ビジネス機会の提供と AI の市場・産業を拡大していくことを目的として開催します。

- 【出展対象】
- AI 技術 (RPA、チャットボット、マシンラーニング、ディープラーニング など)
 - 認識技術 (生体認証、画像認識、音声認識 など)
 - センシング技術
 - ビッグデータ関連技術
 - 各種ロボット
 - 支援サービス
 - その他、AI とロボティクスに関するあらゆる技術・ソリューション

- 【来場対象】 ものづくりを中心としたあらゆる産業の、
- AI に関心のある、導入・活用を検討している方々
 - 経営企画、事業開発、人事、業務革新、生産、開発、マーケティング、情報システム等の部門の管理者およびスタッフ
 - AI 関連ビジネスに携わっている方